



東京都内で行われた表彰式会場にて

令和6年度援護事業功労者厚生労働大臣表彰受賞

多年にわたって戦傷病者、戦没者遺族、引揚者などの援護事業に携わり、功績が顕著な者に対し、その功績をたたえとともに、その苦労に報いるために行われる厚生労働大臣表彰を馬地地区の山本^{まさもと}牧夫さんが受賞されました。

山本さんは、佐賀地区遺族会会長および高知県遺族会幡多支部会長として、恒久の世界平和をめざし、二度と戦没者遺族を出さないことを合言葉に英霊顕彰事業と遺族福祉の向上を基本として援護事業に取り組んでこられました。山本さんは、昨年12月9日(月)に都道府県会館で開催された表彰式で、表彰状などを授与されています。



ボールをキャッチするトレーニングをする井上選手

高知ユナイテッドSCキャンプ

1月9日(木)から14日(火)までの6日間、土佐西南大規模公園で高知ユナイテッドSCがキャンプを行いました。同チームは昨年、JFL(日本フットボールリーグ)で準優勝、J3(Jリーグにおける3部リーグ)・JFL入れ替え戦に勝利し、県内で初めてJ3に入会しました。

キャンプには、練習生を含め選手32名が参加。1月9日(木)には、大西勝也町長など関係者らによる歓迎式典が行われました。

町出身の井上^{いの上}聖也選手は、「ピッチに立って戦う姿を見せたい。町にJ3優勝の景色を見せるため、心も体も鍛えぬいていきたい」と話し、秋田^{あきた}豊監督は、「しっかり体づくりをして、戦術理解を深めていきたい。自分の力を最大限に使い、優勝をめざしたい」と話しました。



長巻寿司に材料を乗せる児童ら

佐賀地域の小学校で食育活動

町農業委員会が主催する食育活動の一環として、食べ物を大事にする気持ちや地元で収穫できる食材を知り、食文化の理解を深めることなどを目的に、佐賀地域の小学校2校で調理実習が行われています。

1月17日(金)の佐賀小学校の回では、同小3～6年生の42名が関係者らとともに長さ23m35cmの長巻^{あやな}寿司を作りました。

同小6年生の山崎^{やまざき}彩菜さんは、「みんなで息を合わせてやったり、途中も楽しくできて良かった。目標の32mには届かなかったけど、前回の18.8mは超えられたから、後輩たちが次やる時に目標に近付けていってもらえたら」と話しました。

拳ノ川小学校では2月10日(月)に実施される予定です。



もちつきの様子

小川地区でもちつき

昨年12月28日(土)、小川地区で約30年続く年末恒例のもちつきが小川構造改善センターで行われました。地区内で収穫された90kgのもち米を提供いただき、地区の有志が集まって鏡もちやのしもち、あんもちを作り小川地区全戸へ配布しました。

また、同地区の子どもたちも集まり、石臼ときねを使ってもちつきを行い、ついたもちできな粉もちを作りました。

子どもたちは、「あんもちが美味しかった」、「きねがちょっと重かった。おもちに命中するのが難しかった」と話しました。